

情報科学研究所設立30周年記念座談会

研究テーマ明確にし、社会貢献を



▲ 白熱した議論が展開された (奥は司会の大曾根教授)

1980年に情報科学研究所が設立されてからちょうど30周年となる。情報科学研究所は、3月5日にサテライトキャンパスで、研究所の設立に

深くかかわるの綿貫理明同教授。司会は現所長の大曾根匡経営学部長が務めた。

座談会は「創設のこころ」、「発展期」、「安定期」、「現在から未来へ」の4部構成で進行した。

出席者は、初代所長坂本名譽教授が口火を切り、発足の資料を示しながら、研究テーマを明確にし、

そのもとで社会に貢献する研究を進めていくべきだという結論に達した。

その後、当時のことを知る奥田名譽教授や竹村、小島、佐藤、中村の各教授が関連するエピソードについてそれぞれ語り、

研究の発展期と安定期については所長経験者の齋藤教授と奥田名譽教授が当時の状況や成果と苦労点について説明した。

最後に、将来のあるべき姿についてディスカッションを行い、情報化社会の進展による環境の変化に対応した新しいスタイルの研究を構築し、

研究テーマを明確にし、そのもとで社会に貢献する研究を進めていくべきだという結論に達した。

座談会の様子については、研究所の発行する年報「情報科学研究」に掲載される予定である(情報科学研究所)。

国際経済学科の2人の卒業生 青年海外協力隊員に

今年度の青年海外協力隊員に経済学部国際経済学科の2人の卒業生が選ばれた。

ウガンダ派遣の小河智子さん(平18・鈴木直次ゼミ)とブルキナファソ派遣の下川美奈子さん(平22・室井義雄ゼミ)。

小河さんは市場調査の会社に勤め、マーケティングリサーチの経験を活かして、

ウガンダ派遣の小河智子さん(平18・鈴木直次ゼミ)とブルキナファソ派遣の下川美奈子さん(平22・室井義雄ゼミ)。



▲ 左から3人目が下川さん、ニタイの難民キャンプで

が、印象に残ったという。「貧困削減をテーマにし、アフリカでのネリカ米普及など食糧開発に携わりたい」と夢が膨らむ。

今年卒業した下川さんは在学中、スタディーツアーなどで発展途上の国々を訪ねたが、短期間滞在の限界を痛感。長期にわたって現地の人々と触れ合い活動する協力隊員を目指した。

「大学で4年間学んだことを生かし、対話を心がけ、少しでも住民の力になれるよう頑張りたい」と抱負を語った。

専修人の新しき本

「専修大学法曹会主催 無料法律相談会」

校友会職域支部の専修大学法曹会が主催する「無料法律相談会」(後援：校友会、今村法律研究所)の開催予定は次のとおりです。

【場所】神田キャンパス 8号館1階「今村記念法律事務所」

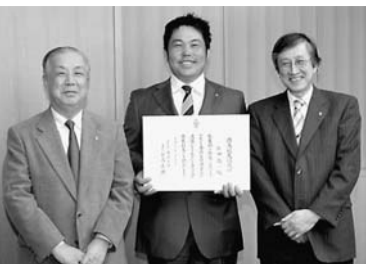
【日程】※毎回水曜日 4月21日、5月19・26日、6月2・9・16・23・30日、7月7・14・21日、9月15日、10月20日、11月24日、12月15日、2011年1月19日、2月16日、3月16日

【時間】16時30分～19時30分

【申込】お申し込みは、校友会事務局(03-3265-7579)または、三井住友カード入会案内デスク(0120-816437)まで、*入会された方には、校友会オリジナルグッズの中からご希望の品1点をプレゼントします。

<09年度日本オープン優勝>

ゴルフ部B 小田 龍一さん



▲ 小田さんを挟んで日高理事長(右)と甘竹秀雄校友会長

推薦校友に

専修大学は、09年10月の「日本オープンゴルフ選手権」で初優勝を果たしたゴルフ部OBの小田龍一さんを推薦校友として認定し、3月24日、神田キャンパスで日高義博理事長・学長から推薦校友認定証を授与した。

小田さんは「校友として認められ、大変うれしく思います。その名に恥じぬようプロとしてアマチュア選手の模範となるプレーを心掛けます」とお礼のあいさつを述べた。

イラストは 松倉さん

イラストは、卒業生の松倉香子さんが担当しました。これからは、小さな生き物たちが一生懸命生きている姿を見て、自分たちが恵まれていることや、もっと頑張れるという気持ちに気づいてほしいという思いを込め、イラスト「イラスト」を「平4文」が担当しました。

雑誌「イラストレーション」主催の誌上コンテスト「ザ・チョイス」で、2009年度の大賞を受賞した松倉さんの今後の活躍に注目し、デザインが目しよう。

安全・安心な新生活を

新入生に安全・安心なキャンパスライフを送ってもらうと、多摩区安全・安心まちづくり協議会が4月9日、生田キャンパスで自転車の盗難防止の啓発活動を行いました。

『蒼翼の獅子たち』英訳版完成

育友会は3月に『蒼翼の獅子たち』の英訳版『Lions with Pale-Blue Wings』を完成させ、300冊を大学に寄贈した。

校友会からのお知らせ

千葉東支部連合総会 4月24日(土) 11時30分開会

JR千葉駅ビル「ペリエ」6F 圃山田徳雄氏(0476-22) 9時59分

宮崎支部総会 6月19日(土) 17時30分開会

ニューウェルシティ宮崎 圃佐藤三氏(0985-24) 43233

専修大学カード 会員募集中!

校友会では専修大学VISAカードの加入募集を実施しております。通常のクレジット機能に加え、校友の弁護士、公認会計士、税理士の紹介や「校友の協力店での割引、優待サービス」など、*入会された方には、校友会オリジナルグッズの中からご希望の品1点をプレゼントします。

卒業生も就職課を利用できます!

就職課で登録手続きをすることで、求人検索や就職相談など、在学生と同じように就職課・資料室を利用できます。学内企業説明会の参加も可能。また、公務員志望者には、面接試験対策を行っています。

詳細はホームページで。 就職課(神田) ☎03-3265-5827、(生田) ☎04-911-1269

ドイツ税理士法 第3次改正報告書

柳 裕治 著

日本の税理士法は、ドイツ税理士法の強い影響を受けて生成・発展してきた。ドイツ税理士法は、2008年に第8次改正が行われ、日本でも改正から9年が経過し、制度を取り巻く社会的環境が大きく変化していることから、改正の議論が

歴史学の醍醐味

西川 正雄 著

ドイツ史、ヨーロッパ近現代史、国際労働運動史を専攻、歴史学の国際交流や歴史教育に尽力し、2008年に亡くなった西川正雄元文学部教授の遺稿集。3人の研究者(伊集院立・法政大学教授、小沢弘明・千葉大学教授、日暮美奈子・専修大学文学部准教授)らの力で出版が実現した。

論集出版に意欲を持っていた西川氏が遺したメモなどから氏の構想を探り、発表された論稿と報告を再録。歴史学の方法論、近代ヨーロッパ史の考え方、歴史教育を中心に据えた。 「私が目白だ」と思ったことも共有される、さらに広く社会的にも共有される、そのことが大事だろうと思えます。読者は故人が語る歴史学の醍醐味を味わうことができるだろう。(日本経済評論社・本体2800円+税)

著者(にし)かわ・まさお 〓元文学部教授。

曲馬琴の世界

板坂 則子 著

江戸後期のベストセラー作家であり、大長編『南総里見八犬伝』(全9巻)の著者である曲馬琴の世界を一冊にまとめあげた。A5判710頁を超える大作。現在、残された板本や稿本から作品の創作過程を細目には日本文化講義。

かく迎えることで馬琴作品に多く見られる手法を探り、馬琴の発想の型を見出す。また、馬琴の目指した「娯楽としての読書」がどのような存在したのか、読書史の中で馬琴が果たした役割も考察している。

第四章「浮世絵における女性読者の像の変遷」は圧巻。256もの読書する女性性を描いた浮世絵を、通史的に概観、解説している。(等閑書院・本体13000円+税)

著者(いた)か・のりこ 〓文学部教授。主な担当科目は日本文化講義。